

年間300台の3Dプリンタを「大田区ネットワーク」と連携して開発・製造・販売 2022年から量産化 製品名は「G-ZERO」

機械設備は安田工業製「YBM950V」(PX300)HSK仕様
ツリーングは、ユキワ精工工業「スーパーG1チャック」「スーパーG1チャックアドバンス」「グリーンG1チャック」



ユキワ精工ツリーングを手にする李社長(左)とオペレーターの白石さん

使い分けしつつ総数で150本を活用

マシンオペレーター評

『他社のコレットツリーングと比べても』

勝るとも劣らない剛性』

『センタースルー、サイドスルーを』

コレットだけで使い分けられる』

「だが、3Dプリンタの世界も日進月歩で、当初、注目されたスピードでは、他社にもキャッチアップされ、当社としてはマシン性能に劣る。PEEK樹脂などのスーパーG1チャックで、素材上の特長を押し出している」。

G-ZEROの特徴を記すと、大型産業用の3Dプリンタながら、最高速度700mm/s、最高加速度30000mm/ss、横層ピッチ50~200μm、縦層ピッチ50~200μmという速度と精度を誇る。「造形エリアは、スタンダードモデルの2倍に相当する、幅360mm、奥行き200mm、高さ35mm。造形エリアが広がれば、一度に造形できるパーツ点数も増え、生産現場における活用シーンの広がりが期待できる」。

3Dプリンタは、およそ400点の部品で構成され、前述したように、協力工場との連携を通じて製作されている。

「当社では安田工業製のYBM950V PX300 HSK仕様を駆使して部品の製造を行っている。縁があつて、2022年8月12日、同時に現場に据えられたツリーングに関しては、工場立ち上げ時に手伝っていたいた方からユキワ精工のツリーングを薦めて頂き、剛性の高さを評価ポイントとして、今では総数で150本くらい活用している」。

ひとつの現場で、2台の機械に導入本数150本というのも圧巻だが、スーパーG1チャック、スーパーG1チャックアドバンス、グリーンG1チャックと、加工内容に応じた使い分けられていることに驚いた。

オペレーターの方によると「センタースルー、サイドスルーを、コレットだけで完結できる利便性や、特注対応能力の高さは、ユキワ精工ならではの強み。加工上では、他社コレットチャックと比べても勝るとも劣らない剛性がある」との評価を下す。一方、ラインナップ拡充は今後とも、テーマにして頂ければ」と要望した。

G-ZEROは、独自の設計のもと、軽量のツリーング、高剛性のヘッド、採用したフレーム、耐久性に優れた可動部パーツによって組み合わされ、高品質を保証している。と云う。

年間300台の3Dプリンタを50社の協力工場と連携して製作していることで、大手メーカーのグリーンベルクを訪問した。

李社長は「2021年に第一号機を完成させ、化と舵を切り「大田区展示会」にも出展。その時の評価は「速く、きれい」。特に速さについては、品に結実させた」。

2022年からは量産と振り返る。

「だが、3Dプリンタの世界も日進月歩で、当初、注目されたスピードでは、他社にもキャッチアップされ、当社としてはマシン性能に劣る。PEEK樹脂などのスーパーG1チャックで、素材上の特長を押し出している」。



販売製品のG-ZERO。大きさがわかるよう、李社長に隣に立っていただいた

大型産業用

最高速度700mm/s、

最高加速度30000mm/ss、

横層ピッチ50~200μm

マシン性能に加え、マテリアルでも差別化
PEEK樹脂などのスーパーエンブラも提案
ユキワ精工ツリーングユーザー訪問ー グリーンベルク(東京・大田区東浦田) 李社長に聞く

ツリーングシステム
スーパーG1チャック



ツールホルダーを
変えると、
生産性が向上する



YUKIWA

ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック

検索

<https://www.yukiwa.co.jp/>

Precision Grade No.1
G1
Super G1 Chuck

本社・工場/〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所/東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.

お客様から
ありがとう
と言っていただけの
ツールホルダー